

13G/13L

スモールカーのベンチマークであり続けるために「もっと」の声に応え、細部まで多くの改良を施しました。

デザインの変更

デザインの洗練と徹底的な低燃費化のためにエクステリアの各所を改良しました。

精緻なメッシュデザインのフロントグリルとシルバー塗装&マットブラックガーニッシュのヘッドライトが、端正な表情を演出



紺碧の空をイメージした鮮やかながらも上品な輝きを放つアズールブルー・メタリックを新設定

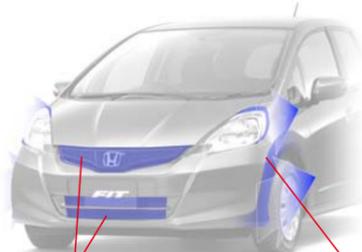
張り出したバンパー下部形状やホイールハウスを強調した造形により、ワイド感を強調

立体感のあるスポーク形状で軽快感を表現する7本スポークのフルホイールキャップ

クリアと赤のレンズによるコントラストがより軽快なリアスタイルを演出

空力性能を向上。

フロントフェンダーと前後バンパーを空気に優れた形状に変更。ホイールアーチ部のエッジを立てさせてサイドへの空気の流れをスムーズにするなど、空力性能を向上。



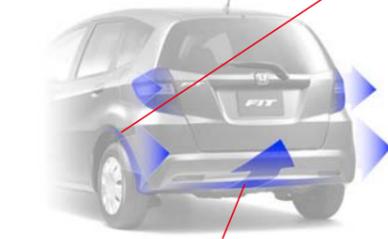
最小限に抑えた開口部

エッジの立ったホイールアーチ



Photo:13 G・スマート セレクション (FF (CVT)) ボディカラーはアズールブルー・メタリック

横基調のリアリフレクターをバンパー下部に配し低重心イメージとワイド感を強調



ボディ下面の風をスムーズに流すディフューザー形状



従来モデル G・スマート セレクション

燃費の向上

燃費を可能な限りよくするために、ピストンからエンジンを見直しました。

従来モデルで達成したクラス*1トップレベルの燃費性能をさらに引き上げるために、ピストンまわりをはじめ細部まで改良。その結果、24.5km/ℓ*2の燃費性能を達成しています。

*1 1.3ℓクラス ハイブリッド車を除く Honda調べ
*2 10・15モード走行燃料消費率 (国土交通省審査値)

ピストンとシリンダーのフリクションを低減。

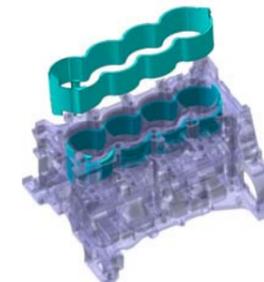
ピストンスカートの表面コーティングにドット状のパターンを施したピストンパターンコーティング。そのパターン配置を変更し、オイル保持性を向上しました。さらにCVT車は、冷却水の流路であるウォータージャケット

■ピストンパターンコーティング

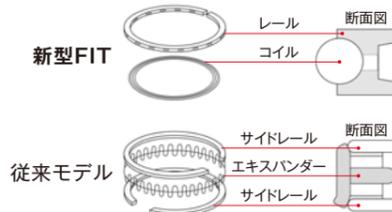


従来モデル 新型FIT 新パターンに変更

■ウォータージャケットスペーサー



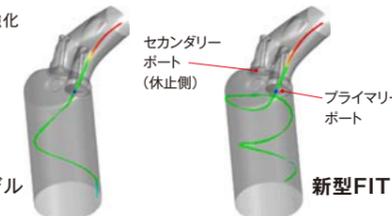
■低張力オイルリング



新型FIT

従来モデル

■スワール強化



従来モデル

新型FIT

燃焼効率を向上。

シリンダーヘッドの吸気ポート形状を変更。1気筒あたり2つあるポートをそれぞれ異なる形状にしてスワールを強化。シリンダー内の混合気分布を最適化し、燃焼を安定化させることで、より多くのEGR (排気ガス再循環) 導入を可能としています。

■1.3ℓ i-VTECエンジン性能

CVT車	最高出力(ネット値)		最大トルク(ネット値)	
	5MT車	5AT車	最高出力(ネット値)	最大トルク(ネット値)
	73kW[99PS]/6,000rpm	73kW[100PS]/6,000rpm	126N・m[12.8kgf・m]/4,800rpm	127N・m[13.0kgf・m]/4,800rpm

「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同条件で測定したものです。

オールシーズンで低燃費であるために、コールドスタート時をはじめとしたCVTの効率向上を徹底しました。

CVTフルードウォーマーを採用し、フルードの暖機時間を短縮。コールドスタート時の攪拌(かくはん)抵抗を低減しました。さらに、油圧センサーを採用してプーリーがベルトを押しつける側圧制御を最適化し、油温センサーの採用によりロックアップ制御を高精度化。走行状況に応じた、よりきめ細かな制御を実現したことで燃費向上に貢献しています。



より経済的に走っていただくために

省エネ運転を支援するECONモードを採用しました。(タイプ別設定)

インストルメントパネルに設置したECONスイッチを押すと、エンジンではスロットルバルブ開度を抑えるようにDBW(ドライブ・バイ・ワイヤ)を制御。CVTやATはエンジン回転数を低く抑える変速設定となり、エアコンも省エネ運転となります。これらによって、より実用燃費に優れた走行をサポートします。なお、15 Xに装備したクルーズコントロールもECONモード時には省エネ運転となります。

